

事務事業名		岩手県都市農業委員会会長等活動事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	015 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目					
	施策名	210 産地化をめざした農林業の振興						会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	011 農業経営の安定化				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	06	01	01	05	
根拠法令													
所 属	部課名	農業委員会事務局											
	係 名	農地係	電話	27 - 3111		内線	356						
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 岩手県都市農業委員会会長会・岩手県農業会議・全国農業会議所・岩手県など、農業関係機関が主催する各種事業への参画事業。 具体的な業務は以下のとおり。 要請活動への参加 会議・研究会への出席 研修会への参加 事業費の使途は以下のとおりである。 会議・研修会参加旅費 会議出席負担金						全体計画 (期間限定複数年度のみ)							
						総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金					
								都道府県支出金					
								地方債					
								その他					
								一般財源					
						事業費計 (A)	0						
						人件費	正規職員従事人数						
							延べ業務時間						
							人件費計 (B)		0				
							トータルコスト(A) + (B)		0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 県選出国会議員への要請活動、全国農業委員会会長会・東北北海道フォーラム・都市農業委員会会長会への出席、農業委員会大会・ブロック別研修会への参加。緊急事業として、県への要請活動(燃料費・飼料代高騰に係る) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ。		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
		名称	
		ア	会議・研修会等への出席対象者数
		イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 大船渡市農業委員 農業者		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		カ	大船渡市農業委員
		キ	農業者数
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 全国・県内における農業の実情に基づく農業政策への要請活動や研究を行い、当市の農政活動に反映させる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		サ	研修会等への参加人数
		シ	農業者への指導件数
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 農産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)	
		単位							
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	68	148	262	263	252	251
		事業費計 (A)	千 円	68	148	262	263	252	251
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時 間	50	50	50	50	50	50
		人件費計 (B)	千 円	200	200	200	200	200	200
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	268	348	462	463	452	451
活動指標		ア	人	95	95	95	95	95	95
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	人	21	21	20	21	21	20	
	キ	人	1353	1353	1353	1353	1353	1200	
	ク								
成果指標	サ	人	55	57	72	84	89	88	
	シ	件	28	74	130	132	350	400	
	ス								

事務事業ID	0745	事務事業名	岩手県都市農業委員会会長等活動事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和26年の「農業委員会に関する法律」の制定に伴い、各市町村に農業委員会が設置され、その後、県内都市農業委員会の情報交換の場が設けられた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
平成の市町村大合併により、農業委員会数が減少した。一方、農業従事者の高齢化の進行や後継者不足が課題になっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 農業者の声を政策に反映させるリーダーとしての要請活動や協議する会議等は必要であり、政策に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 農業委員会は市内農業者の声を反映する、または指導する機関であることから、農業委員会会長・農業委員が各種活動に参加することは、妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] リーダーとしての農業委員・農業者の経営ということから適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 研修後に意見交換会などで振り返りをさせる。 ・県内の農業委員等を対象とする研修会において当地域の課題に適合しない内容の研修が企画されることもあるので、事前に研修内容を聞き取り、参加する研修を厳選する。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 地域にあった農政の要請活動ができなくなる。 ・市内農業の振興に参考となる農業に関する情報(県内外)の入手がむずかしくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 農業者の声を反映する場がなくなる。
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 県内会長を対象とする先進地視察(1泊2日、東北管内)は、毎年運営負担金を支出しているにも関わらず、参加負担金が高いので、今後は隔年参加とするか、または研修内容により参加の有無を決定するなどの改善余地がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 随行をやめるなど既に実行しており、現在でも必要最小限である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 研修会においては、参加対象農業委員に案内をしており、主催者側で定員を決めている場合においては、専門員会の役職や委員の在職期間により研修機会が3年の任期中にほぼ均等に参加できるよう調整して案内している。

事務事業ID	0745	事務事業名	岩手県都市農業委員会会長等活動事業
--------	------	-------	-------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	・農業委員視察研修と東北・北海道農業活性化フォーラム参加を併せて実施することにより、より多くの農業委員がフォーラムに参加することができた。 ・燃料費・飼料代高騰に係る緊急の要請活動・県内一斉に市町村に対して行われる農業委員会体制充実に関する要請活動の準備をした。 ・各種会議・農政活動に参加し、農業委員カードで復命を受けたが、県内ブロック会議などは、ブロックの区割りが大きすぎて当地域の農政課題解決に直結しない研修内容も見られた。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・要請活動に当市の農業者の声が反映できるような事項を上部組織に提案していく。 ・県内都市農業委員会会長会主催の視察研修や、県内ブロック会議での区分を「沿岸南部」及び「沿岸北部」に細分化するなど、その実施方法の改善を主催者に要望する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
・県内の内陸部に比べ、沿岸部は農業振興が盛んでない地域であるため、県への要望が反映しにくい。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農業委員会事務局長	
-------	-----------	--

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	当市の農政活動に見合った研修会・要請活動を行う。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 当市の農政活動に見合った研修会・要請活動を行っていく。遠方での研修については、内容を精査し参加を判断する。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
